

平成19年度 歳出予算要求内訳書(事項別)

函館病院分

(単位:千円)

事項	平成19年度予算額		平成18年度予算額		増△減 ⑱-⑱
	要求額	積算内訳	当初予算額	積算内訳	
① 看護師養成施設 運営費	78,741	高等看護学院費用 A 140,236 給与費 (103,346) 経費 (17,287) 減価償却費(B) (14,921) 資産減耗費(B) (50) 研究研修費 (4,632) 現金外支出額 B 14,971 現金総支出額 C=A-B 125,265 高等看護学院収益 D 46,524 繰入額 E=C-D 78,741	87,723	高等看護学院費用 141,072 給与費 (105,028) 経費 (16,183) 減価償却費 (15,174) 資産減耗費 (50) 研究研修費 (4,637) 現金外支出額 15,224 現金総支出額 125,848 高等看護学院収益 38,125	-8,982
② 救急医療施設 増こう経費	61,708	支出 A 131,718 人件費 91,259 空床確保経費 40,459 収入 B 70,010 二次病院交付金 12,802 医業収益 57,208 繰入額 C=A-B 61,708	63,833	支出 126,778 人件費 91,713 空床確保経費 35,065 収入 62,945 2次交付金 12,894 医業収益 50,051	-2,125
③ 企業債利子	342,327	平成19年度企業債利息償還額(18年度債 縁故2.0%) 病院分 485,696,994 円 × 2 / 3 = 323,797,996 円(14年度債まで) 15,154,084 円 × 1 / 2 = 7,577,042 円(15年度債以降) 学院分 10,951,900 円 × 100 % = 10,951,900 円 合計 342,326,938 円 ≒ 342,327 千円	349,898	病院分 338,560 学院分 11,338	-7,571

平成19年度 歳出予算要求内訳書(事項別)

函館病院分

(単位:千円)

事 項	平成19年度予算額		平成18年度予算額		増△減 ⑱-⑱
	要求額	積算内訳	当初予算額	積算内訳	
④ 精神病棟運営費	97,800	1床あたり単価(普通交付税措置額) A 489千円 精神病棟病床数 B 200床 繰入額 C=A×B 97,800	103,800	1床あたり単価 519 (普通交付税額) 精神病棟病床数 200床	-6,000
⑤ 結核病棟運営費	28,020	1床あたり単価(普通489+特別445交付税措置額) A 934千円 結核病棟病床数 B 30床 繰入額 C=A×B 28,020	27,720	1床あたり単価 924 (普通 519, 特別 405) 結核病棟病床数 30床	300
⑥ 周産期医療に要する経費	43,884	1床あたり単価(特別交付税措置額) A 2,438千円 3階東病棟病床数 B 36床 算入率 1/2 繰入額 C=A×B×1/2 43,884	38,160	1床あたり単価 2,120 (特別交付税額) 3階東病棟病床数 36床 算入率 1/2	5,724
⑦ 救命救急センター運営費	83,087	平成18年度普通交付税交付額A 16,687千円(保健衛生費16.93円×985,610) 平成18年度特別交付税交付額B 66,400千円(前年度比 19,000千円増B') 繰入額 E=A+B+C+D 83,087	47,400	H17特別交付税 47,400	35,687
⑧ 小児医療に要する経費	15,328	1床あたり単価(特別交付税措置額) A 958千円 小児用病床数 B 16床 繰入額 C=A×B 15,328	13,328	1床あたり単価 833 (特別交付税額) 小児専用病床数 16床	2,000
⑨ 児童手当支給対象延長分	10,267	児童手当支給対象年齢延長分所要額 ※ 3歳～小学校6年生まで(平成18年度に3年生→6年生に延長) 月額平均 855,583円×12ヶ月= 10,267,000円= 10,267千円	5,955	月額平均 496.3 月数 12ヵ月	4,312

平成19年度 歳出予算要求内訳書(事項別)

函館病院分

(単位:千円)

事項	平成19年度予算額		平成18年度予算額		増△減 ⑱-⑱
	要求額	積算内訳	当初予算額	積算内訳	
⑩ 高度医療に要する経費 (無菌室増床に係る企業債利息)	626	平成19年度企業債利息償還額(16年度借入 39,700千円 北海道銀行1.625%, 17年度借入 48,800千円 みちのく銀行1.74%) 無菌室増床分 $1,250,748 \text{ 円} \times 1/2 = 625,374 \text{ 円}$ (15年度債以降)	592	無菌室利息 繰入額(1/2) 1,183 繰入額(1/2) 592	34
⑪ 看護師養成施設整備費	500	採血静注シミュレーター $144,020 \text{ 円} \times 1.05 = 151,221 \text{ 円}$ 女性導尿法シミュレーター $127,344 \text{ 円} \times 1.05 = 133,711 \text{ 円}$ 男性導尿トレーナー $204,660 \text{ 円} \times 1.05 = 214,893 \text{ 円}$ 合計 499,825 円 ≒ 500 千円	378	きんちゅうくん 109 産褥子宮触診モデル 269	122
⑫ 高度医療に要する経費 (無菌室増床に係る企業債元金)	4,425	平成19年度企業債元金償還額(16年度借入 39,700千円 北海道銀行1.625%, 17年度借入 48,800千円 みちのく銀行1.74%) 無菌室増床分 $8,850,000 \text{ 円} \times 1/2 = 4,425,000 \text{ 円}$ (15年度債以降)	4,425	無菌室元金 繰入額(1/2) 8,850 繰入額(1/2) 4,425	0
⑬ 企業債元金	749,852	平成19年度企業債元金償還額(18年度債 縁故2.0%) 病院分 $858,989,623 \text{ 円} \times 2/3 = 572,659,749 \text{ 円}$ (14年度債まで) $317,999,255 \text{ 円} \times 1/2 = 158,999,628 \text{ 円}$ (15年度債以降) 学院分 合計 749,851,476 円 $18,192,100 \text{ 円} \times 100\% = 18,192,100 \text{ 円}$ ≒ 749,852 千円	688,186	病院分 670,380 学院分 17,806	61,666
⑭ 基礎年金拠出金 公的負担経費	84,144	平成17年度 経常損失 1,075,104,748 円の範囲内 給料×1.25, 期末・ 勤勉手当総額 $4,648,815 \text{ 千円} \times 18.1/1,000 = 84,144 \text{ 千円}$	76,339	経常損失 1,145,320 給料等総額 4,438,320 × 17.2/1,000	7,805
⑮ 追加費用に要する経費	107,229	平成18年度実績 $177,252,018 \text{ 円} \div 667 \text{ 人} = 265,745 \text{ 円}$ $265,745 \text{ 円} \times ( \begin{matrix} \text{人} & \text{人} & \text{人} & \text{倍} \\ 738 & - & 10 & - & 295 & \times & 1.1 \end{matrix} ) = 107,228,108 \text{ 円}$ 学院 S.38 職員数 ≒ 107,229 千円 (295人) ※算出は、18年度特別交付税の算出方法を採用。	97,986	実績 180,690 人員 674 単価 268,086 円 予定人員 700 (学院含む)	9,243